

教宣 せぶん

満場いっぱいの拍手

08 春闘を前に、全損保各支部で臨時大会が開催されています。全損保の仲間の皆さんには、「支援カンパ」「手渡し&ポスティングビラ」「裁判長宛のハガキ」「裁判傍聴」「団体署名」「街宣行動」など、常日頃から私たちのたたかいを強力に支えていただいています。今春闘をたたかう方針として、賃上げ要求とともに「日勤外勤のたたかいをすすめていく」と議案書に書き込んでいただいている支部もあるなど、さらに私たちのたたかいを、全損保をあげてすすめようとしていただいています。また各支部の臨時大会会場では、貴重なスケジュールをぬって、私たちに「たたかいへの支援を訴える」時間を割いていただいています。

3月10日、日新支部と共栄支部の臨時大会が行われ、席上、訴える時間をいただきました。

「合併を境にした会社の不当労働行為や会社が制度廃止を一方向的に通知してきたことで、私たちは有給休暇を使ったたたかいを強いられています。この時期になると有給休暇が底を突いている組合員も多く、有給休暇に余裕のある組合員が本日、回らせて頂いているわけですが、こんなところにも私たちのたたかいの縮図があらわれています。現在、地位確認訴訟、不当労働行為救済申し立ての私たちのふたつのたたかいは、それぞれ東京高裁での裁判、中央労働委員会の審議が大詰めの段階を迎えています。一審同様、勝利判決、勝利命令を勝ち取り、法的な力を手に、さらに世論に訴えることで、会社に全面解決を迫っていきます。そうしたたたかいをすすめていくなかで、さらなるご支援、ご協力を仰がなければならない場面が出てくるかもしれませんが、東京海上日動社で引き続き外勤社員として働きたいと全員が切望しています。ぜひ引き続き、私たちのたたかいへのご支援、ご協力をお願いいたします」と訴えました。あたたかい、満場いっぱいの拍手が鳴り響きました。

私たちは仲間の力を借り、このたたかいをさらに積極的に、力強くすすめていきます。